

# あんしんネット少額短期株式会社の 現状 2013

あんしんネット少額短期株式会社

〒330-0071 埼玉県さいたま市浦和区上木崎二丁目 14 番 24 号

TEL 048-826-2090      fax 048-826-2078

目 次

I. 会社の概要および組織

1. 会社の特色
2. 会社の沿革
3. 経営の組織
4. 株式の状況
5. 役員の状況
6. 使用人の状況

II. 主要な業務の状況

1. 取扱商品
2. 募集体制

III. 主要な業務に関する事項

1. 直近の事業年度における業務の概況
2. 直近の3事業年度における主要な業務の状況を示す指標
3. 直近の2事業年度における業務の状況
  - (1) 主要な業務を示す指標等
  - (2) 保険契約に関する指標等
  - (3) 経理に関する指標等
  - (4) 資産運用に関する指標等
4. 責任準備金の残高の内訳

IV. 運営に関する事項

1. リスク管理の体制
2. 法令遵守の体制
3. 個人情報の取り扱いについて
4. 指定紛争解決機関について

V. 財産の状況

1. 計算書類
  - (1) 貸借対照表
  - (2) 損益計算書
  - (3) キャッシュフロー計算書
  - (4) 株主資本等変動計算書
2. 保険金の支払い能力の充実の状況（ソルベンシー・マージン比率）
3. 有価証券または金銭信託の取得価額、時価および評価損益
4. 公衆の縦覧に供する書類に関する会計監査人の監査の有無
5. 計算書類に関する会計監査人の監査証明の有無

I. 会社の概要および組織

1. 会社の特色

当社は、冠婚葬祭互助会業並びにその関連事業を行うアルファクラブグループの主要企業を株主とし、平成 20 年に、アルファクラブグループの冠婚葬祭互助会の会員を対象とした「あんしんネット共済会」の共済契約の受け皿並びに冠婚葬祭をご利用のお客様に少額短期保険により経済的側面からバックアップすることを目的に、設立されました。

平成 21 年 3 月に関東財務局長の少額短期保険業者として登録を完了し、同年 3 月 30 日より少額短期保険業者としての営業を開始いたしました。

2. 会社の沿革

平成 20 年 10 月 23 日 「あんしんネット少額短期株式会社」設立

平成 21 年 3 月 24 日 関東財務局長（少額短期保険）第 52 号登録

平成 21 年 3 月 26 日 「あんしんネット共済会（埼玉）・（郡山）・（福島）」の共済契約の「業務及び財産の管理」の認可取得

平成 21 年 3 月 30 日 少額短期保険業の業務開始

「介護一時金付定期保険」「入院一時金付定期保険」発売

平成 22 年 3 月 29 日 顧客ニーズにマッチした保険金建「定期保険」の承認を得て、5 月より販売開始いたしました。

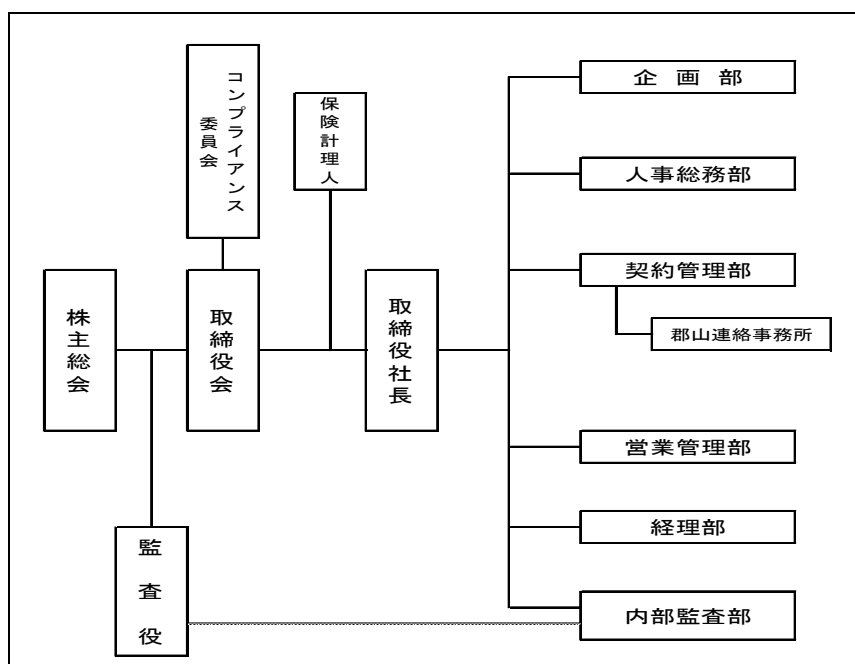
平成 23 年 4 月 18 日 本店を移転いたしました。

3. 経営の組織

(1) 所在地

本 社 〒330-0071 埼玉県さいたま市浦和区上木崎二丁目 14 番 24 号

(2) 組織図（平成 25 年 7 月 1 日）



4. 株式の状況

(1) 株式数

- ・発行可能株式総数                   8,000 株
- ・発行済株式の総数                   2,000 株

(2) 株主数

平成 24 年度末株主数                   6 名

(3) 株主（平成 24 年度末現在）

株主の氏名又は名称	当社への出資状況	
	持株数等	持株比率
アルファクラブ株式会社	900 株	45%
アルファクラブ武蔵野株式会社	700 株	35%
アルファクラブ栃木株式会社	100 株	5%
株式会社アドスタッフ	100 株	5%
リアルクリーン株式会社	100 株	5%
株式会社参友	100 株	5%

5. 役員の状況（平成 25 年 6 月 22 日現在）

氏名	地位	重要な兼職
金井 勉	代表取締役	なし
神田 成二	取締役	アルファクラブ武蔵野(株) 代表取締役 アルファクラブ(株) 代表取締役 アルファクラブ栃木(株) 代表取締役 アルファニューライフ(株) 代表取締役 アルファ交通(株) 代表取締役 むさしのコンサルティング(株) 代表取締役 (株)ライフアンサーズ 取締役 (株)サイカンシステム 取締役 (株)盛岡市民斎場 代表取締役
和田 浩明	取締役	アルファクラブ武蔵野(株) 専務取締役 (株)サイカンシステム 専務取締役
白井 太郎	監査役	税理士法人白井会計事務所 社員

6. 使用人の状況

区分	前期末	当期末	当期増減 (△)	当期末現在	
				平均年齢	平均勤続年数
内務職員	5 名	5 名	—	52 歳	3 年 1 ヶ月
営業職員	—	—	—	—	—

## II. 主要な業務の内容

### 1. 取扱商品

#### (イ) 1年更新型定期保険（保険金建）

##### (1) 特徴

- ①お葬儀に付帯する様々な費用をサポートするため、30万円～300万円の7つの死亡保障プランをご用意いたしました。
- ②簡略な健康告知事項に該当しなければ、40歳から84歳の方まで加入できます。
- ③更新は、最長94歳まで可能。更新時の健康告知は不要です。
- ④保障額は一定、保険料は更新時の満年齢によります。
- ⑤男女別、各歳保険料のため、特に女性の方には低廉な保険料となっています。

##### (2) 保険期間／加入年齢／払込方法／収納方法／月払保険料

- ①保険期間：1年（保険料払込期間と同一）
- ②加入年齢：満40歳以上85歳未満
- ③払込方法：月払（口座振替）

#### (ロ) 介護一時金付定期保険（無配当1年更新型）

##### (1) 特徴

- ①リーズナブルな保険料で死亡保障を提供し、疾病または不慮の事故で死亡した場合に死亡保険金または傷害死亡保険金をお支払します。
- ②また公的介護認定を受けた場合に介護一時金をお支払する商品です。
- ③傷害死亡の場合は、死亡保険金と合わせて傷害死亡保険金をお支払します。

##### (2) 保険期間／加入年齢／払込方法／収納方法／月払保険料

- ①保険期間：1年（保険料払込期間と同一）
- ②加入年齢：満40歳以上85歳未満
- ③払込方法：月払（口座振替）

#### (ハ) 入院一時金付定期保険（無配当1年更新型）

##### (1) 特徴

- ①リーズナブルな保険料で死亡保障を提供し、疾病または不慮の事故で死亡した場合に死亡保険金または傷害死亡保険金をお支払します。
- ②また継続8日間（7泊8日）以上の入院をした場合に入院一時金をお支払する商品です。
- ③傷害死亡の場合は、死亡保険金と合わせて傷害死亡保険金をお支払します。

##### (2) 保険期間／加入年齢／払込方法／収納方法／月払保険料

- ①保険期間：1年（保険料払込期間と同一）
- ②加入年齢：満15歳以上40歳未満
- ③払込方法：月払（口座振替）

## 2. 募集体制

株主企業「冠婚葬祭互助会運営会社」法人代理店および互助会会員募集を主たる目的とした株主企業の委託先の個人代理店を募集代理店として少額短期保険の販売を展開しております。

平成 25 年 3 月末現在、募集代理店数 84 店 募集人数 823 名

## Ⅲ. 主要な業務に関する事項

### 1. 直近の事業年度における業務の概況

#### (1) 主要な事業内容

当社は、お葬儀に付帯する様々な費用をサポートする死亡保障の「1 年更新型定期保険」ならびに普通死亡および傷害死亡を保障し、加入年齢 40 歳未満の方には疾病または傷害入院による継続 8 日以上入院に対して入院一時金をお支払する「入院一時金付定期保険」および加入年齢 40 歳以上 85 歳未満の方には、公的介護認定を受けた場合に介護一時金をお支払する「介護一時金付定期保険」の 3 種類の保険商品を代理店を通じて販売いたしております。

また、「あんしんネット共済会」の共済契約の「業務及び財産の管理の委託」について、平成 21 年 3 月 26 日認可取得いたしましたので、共済契約の管理業務を行っております。

#### (2) 事業の経過および成果

当社は、平成 21 年 3 月より営業開始し、平成 22 年 5 月より定期保険を主力とした販売活動に取り組んでおります。平成 24 年度の契約高については、新契約件数 1,527 件（対前年比 55.9%）となりましたが、保有契約高は、件数で 5,930 件（対前年比 108.6%）、年換算保険料で 170,553 千円（対前年比 115.2%）となりました。

また、収支状況においては、このような保有契約高の伸展を受け、経常収益 162 百万円（対前年比 108.1%）と収入増となりました。一方、経常費用は 161 百万円（対前年比 120.8%）となり、経常利益において、1 百万円を確保することができました。

#### (3) 対処すべき課題

今後取り組むべき課題として、何より保有契約の拡大を最優先課題とし、少額短期保険の特徴を広く一般顧客に P R し、「定期保険」を中心とした新契約件数の更なる獲得に取り組むとともに営業費及び一般管理費の抑制に取り組んで参ります。

(4) 財産及び損益の状況の推移

(単位：千円)

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度 (当期)
収入保険料	45,381	126,328	159,142
（個人保険）	45,381	126,328	159,142
（その他の保険）	—	—	—
正味収入保険料	45,381	126,328	159,142
個人保険	45,381	126,328	159,142
その他の保険	—	—	—
利息及び配当金収入	19	15	18
経常利益（又は経常損失）	△15,073	16,583	974
契約者配当準備金繰入額	—	—	—
当期純利益（又は当期純損失）	△15,786	14,903	321
総資産	106,825	129,127	136,248
1株当たり当期純利益（又は当期純損失）	△7,893円26銭	7,451円58銭	160円85銭

※当社の業務開始日は平成 21 年 3 月 30 日です。

2. 直近の 3 事業年度における主要な事業の状況を示す指標

(単位：千円)

(区分)	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
経常収益	78,455	150,622	162,877
経常利益	△15,073	16,583	974
当期純利益（純損益）	△15,786	14,903	321
資本金の額	100,000	100,000	100,000
発行済株式の総数	2,000	2,000	2,000
純資産額	87,755	102,659	102,980
総資産額	106,825	129,127	136,248
責任準備金残高	7,804	12,381	18,962
有価証券残高	—	—	—
ソルベンシー・マージン比率	6,230.8%	5,255.1%	4,913.9%
配当性向	—	—	—
従業員数	5	5	5
正味収入保険料の額	45,381	126,328	159,142

※当社の業務開始日は平成 21 年 3 月 30 日です。

3. 直近の2事業年度における業務の状況

(1) 主要な業務の状況を示す指標等

① 正味収入保険料

(単位：千円)

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度
生命保険	126,328	159,142
死亡保険	126,328	159,142
その他	—	—
合 計	126,328	159,142

\* 正味収入保険料とは、(保険料－解約返戻金－その他返戻金)－(再保険料－再保険返戻金)

② 元受正味保険料

(単位：千円)

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度
生命保険	126,328	159,142
死亡保険	126,328	159,142
その他	—	—
合 計	126,328	159,142

\* 元受正味収入保険料とは、(保険料－解約返戻金等)

③ 支払再保険料

該当事項はありません。

④ 保険引受利益の額

(単位：千円)

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度
生命保険	17,701	1,252
死亡保険	17,701	1,252
その他	—	—
合 計	17,701	1,252

\* 保険引受利益の額は「保険引受収益」から「保険の引受費用」保険引受けに係る営業費及び一般管理費を減じ「その他の収支」を加えて算出。

⑤ 正味支払保険金

(単位：千円)

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度
生命保険	51,500	93,018
死亡保険	51,500	93,018
その他	—	—
合 計	51,500	93,018



⑥ 元受正味支払保険金 (単位：千円)

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度
生命保険	51,500	93,018
死亡保険	51,500	93,018
その他	—	—
合 計	51,500	93,018

⑦ 回収再保険金

該当事項はありません。

(2) 保険契約に関する事項

① 契約者配当金の額

該当事項はありません。

② 正味損害率、正味事業費率およびその合算率

区 分	平成 23 年度			平成 24 年度		
	正味 損害率	正味 事業費率	合算率	正味 損害率	正味 事業費率	合算率
生命保険	40.8%	60.2%	101.0%	58.4%	37.9%	96.3%
死亡保険	40.8%	60.2%	101.0%	58.4%	37.9%	96.3%
その他	—	—	—	—	—	—
合 計	40.8%	60.2%	101.0%	58.4%	37.9%	96.3%

\* 正味損害率は、(正味支払保険金/正味収入保険料) × 100

\* 正味事業費率は、(正味事業費/正味収入保険料) × 100

\* 合算率は、(正味損害率 + 正味事業費率)

③ 発生損害率、事業費率およびその合算率

区 分	平成 23 年度			平成 24 年度		
	発生 損害率	発生 事業費率	合算率	発生 損害率	発生 事業費率	合算率
生命保険	43.2%	60.2%	103.4%	60.2%	37.9%	98.1%
死亡保険	43.2%	60.2%	103.4%	60.2%	37.9%	98.1%
その他	—	—	—	—	—	—
合 計	43.2%	60.2%	103.4%	60.2%	37.9%	98.1%

\* 発生損害率は、(保険金 + 給付金) / (保険料 - 解約返戻金 - その他返戻金) × 100

\* 発生事業費率は、(事業費 / (保険料 - 解約返戻金 - その他返戻金)) × 100

\* 合算率は、(発生損害率 + 発生事業費率)

④ 再保険関係に関する諸数値

当社は、再保険取引を行っていないため、該当事項はありません。

(3) 経理に関する指標等

① 支払備金

(単位：千円)

区 分	平成 23 年度			平成 24 年度		
	普通 支払備金	I B N R 支払備金	合計	普通 支払備金	I B N R 支払備金	合計
生命保険	4,500	1,782	6,282	4,900	3,438	8,338
死亡保険	4,500	1,782	6,282	4,900	3,438	8,338
その他	—	—	—	—	—	—
合 計	4,500	1,782	6,282	4,900	3,438	8,338

② 責任準備金

(単位：千円)

区 分	平成 23 年度				平成 24 年度			
	普通責任 準備金	異常危険 準備金	契約者配 当準備金	合計	普通責任 準備金	異常危険 準備金	契約者配 当準備金	合計
生命保険	8,527	3,854	—	12,381	14,813	4,149	—	18,962
死亡保険	8,527	3,854	—	12,381	14,813	4,149	—	18,962
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	8,527	3,854	—	12,381	14,813	4,149	—	18,962

③ 利益準備金及び任意積立金の区分ごとの残高

該当事項はありません。

④ 損害率の上昇に対する経常利益又は経常損失の額の変動

損害率の上昇仮定	発生損害率が 1% 上昇すると仮定します。	
計算方法	増加する発生損害額 = 既経過保険料の 1% 経常損失の増加額 = 増加する発生損害額	
	平成 23 年度	平成 24 年度
経常損失の増加額	1,234 千円	1,580 千円

(4) 資産運用に関する指標等

① 資産運用の概況

(単位：千円)

区分	平成 23 年度		平成 24 年度	
	金額	構成比	金額	構成比
預貯金	90,335	70.0%	95,675	70.2%
金銭信託	—	—	—	—
有価証券	—	—	—	—
運用資産計	90,335	70.0%	95,675	70.2%
総資産	129,127	100.0%	136,248	100.0%

② 利息配当収入の額および運用利回り (単位：千円)

区分	平成 23 年度		平成 24 年度	
	収入金額	利回り	収入金額	利回り
預貯金	15	0.02%	18	0.02%
金銭信託		—		—
有価証券		—		—
合計	15	0.02%	18	0.02%

③ 保有有価証券の種類別残高および利回り等

該当事項はありません。

④ 価格変動準備金

該当事項はありません。

4. 責任準備金の残高の内訳

(単位：千円)

種目	未経過 保険料 (A)	危険保険料 積み増し (B)	収支残 (C)	当期末 普通責任準備金
死亡保険	9,145	—	12,921	14,813
その他	—	—	—	—
合計	9,145	—	12,921	14,813

(注) 少額短期保険業につき、未経過保険料 (A) と危険保険料積み増し (B) の合計額と、収支残 (C) のいずれか大きい金額を当期末普通責任準備金として計上しております。

(単位：千円)

種目	普通責任 準備金	異常危険 準備金	契約者配当 準備金	当期末 責任準備金
死亡保険	14,813	4,149	—	18,962
その他	—	—	—	—
合計	14,813	4,149	—	18,962

IV. 運営に関する事項

1. リスク管理の体制

当社は、管理すべきリスクを保険引受リスク、資産運用リスク、流動性リスク、オペレーションリスク（事務リスク、システムリスク、リーガルリスク、人事リスク、災害リスク、風評リスク、経営リスク）と捉え担当部門におけるリスク管理状況を分析・把握・評価し業務部門に対する牽制・指導を行います。

2. 法令遵守の体制

当社は、コンプライアンスを経営の最重要課題の一つとして位置づけ、コンプライアンスの

推進を目的とした「コンプライアンス委員会」を設置いたしました。

コンプライアンス・プログラムの策定、コンプライアンス・マニュアルを作成し、役員を初め、従業員・代理店および募集人に対して、法令等遵守の指導・教育を行います。

### 3. 個人情報の取り扱いについて

当社は、「お客様第一」を常に行動の原点とし、保険業の社会・公共的使命を果たし、お客様や社会から信頼いただける保険会社を目指すとともに、個人情報保護の重要性に鑑み、「個人情報の取り扱いに関する方針」を定め社会からの信頼をより向上させるべく、個人情報保護に関する法律、その他の関連法令、ガイドライン、一般社団法人日本少額短期協会の指針等を遵守いたします。

#### (1) 個人情報の取得・収集について

- ① 当社は、適法かつ公正な手段によって、個人情報の収集を行います。
- ② 特に機微（センシティブ）情報を含む個人情報は、主に保険の契約申込書、保険金・一時金請求書等により取得・収集します。また、新聞記事等の公示情報も取得・収集させていただくことがあります。

#### (2) 個人情報の利用と利用目的について

- ① お預かりした個人情報は、利用目的の範囲内で、業務遂行上必要な場合において利用します。
- ② また、ご契約者、被保険者、保険金・一時金ご請求者からお預かりした個人情報は、以下の目的のために利用します。その他の目的に利用することはありません。
  - ・適切な保険のお引受け
  - ・保険契約の維持・管理
  - ・保険事故が発生した場合の円滑かつ適切な保険金・一時金のお支払
  - ・当社保険商品・サービスに関する情報のご案内とご提供
  - ・市場調査および商品・サービスの開発・研究
  - ・当社グループ会社および提携先企業の商品・サービスに関するご案内
- ③ これらの利用目的については、当社ホームページによる掲載等の方法により公表するほか、ご契約者様から書面等により個人情報を収集する場合は、上記利用目的をご契約者様ご本人に明示いたします。

なお、利用目的を変更する場合は、その内容を原則として書面等によりご本人に通知し、また、当社ホームページにより公表します。

#### (3) 個人データの管理について

- ① 取り扱う個人データの紛失、漏えい、毀損の防止、その他の個人データの安全管理のために安全管理に関する基本方針、個人情報保護に係る規定等の整備等を行うとともに、十分なセキュリティ対策を講じ、正確性を確保するために適切な措置を講じます。
- ② 個人データ管理責任者を任命し、個人情報の安全・適正な管理を実施します。
- ③ 個人データの持ち出し、または外部へ移送・送信する際には相当の注意を払います。

- ④ 役員、社員、および代理店を含めた委託先に対して、個人情報の保護および適正な管理方法等について継続的に研修を実施し、日常業務における個人情報の適正な取り扱いを徹底します。
- ⑤ 定期的に監査を実施し、本方針を実践・遵守するとともに個人情報保護の継続的改善に取り組んでまいります。
- ⑥ 外部に個人データの取り扱いを委託する場合には、あらかじめ委託先の情報管理体制を確認し、委託後の業務遂行状況を監視するなど委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。

(4) 個人データの第三者提供について

- ① 個人データを第三者に提供する際は、原則として、事前にご本人の同意をいただきます。ただし、次の場合には、ご本人の同意を得ないで個人データを第三者に提供する場合があります。
  - ・個人情報に関する法律でご本人の同意を得ないで個人データを第三者に提供することが認められている場合
  - ・再保険の手配等、当社の業務遂行上必要な範囲で提供する場合
  - ・当社の業務遂行上必要な範囲内で、保険代理店を含む委託先に提供する場合
- ② また、個人データを第三者に提供する場合には、厳正な調査を行ったうえ提供するとともに、秘密を保持させるために、適正な監督を行います。

(5) 個人情報保護規定等の整備・実施・維持・改善

当社は、本方針を実行するため、個人情報保護に係る規定を定め、組織体制を確立し、徹底した教育、定期的な監査および確認を行い、継続的に改善いたします。

4. 指定紛争解決機関について

当社は、お客様からお申し出いただいた苦情等につきまして、解決に向けて真摯な対応に努める所存でございます。なお、お客様の必要に応じ、当社加入協会（日本少額短期保険協会）の指定紛争解決機関「少額短期ほけん相談室」をご利用いただくこともできますので、ご案内申し上げます。

詳細につきましては、以下をご参照願います。

<指定紛争解決機関>

一般社団法人 日本少額短期保険協会 「少額短期ほけん相談室」

電話（フリーダイヤル）：0120-82-1144

F A X : 03-3297-0755

受付時間：9：00～12：00、13：00～17：00

受付日：月曜日から金曜日(祝日および年末年始休業期間を除く)

## V. 財産の状況

## 1. 計算書類

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

科目	平成 23年度	平成 24年度	科目	平成 23年度	平成 24年度
(資産の部)			(負債の部)		
現金及び預貯金	90,359	95,700	保険契約準備金	18,663	27,301
現金	24	25	支払備金	6,282	8,338
預貯金	90,335	95,675	責任準備金	12,381	18,962
有価証券	—	—	普通責任準備金	8,527	14,813
国債	—	—	異常危険準備金	3,854	4,149
地方債	—	—	契約者配当準備金	—	—
その他の証券	—	—	代理店貸	—	—
有形固定資産	688	367	再保険貸	—	—
土地	—	—	短期社債	—	—
建物	—	—	社債	—	—
動産	—	—	新株予約権付社債	—	—
建設仮勘定	—	—	その他負債	7,805	5,966
その他の有形固定資産	688	367	借入金	—	—
無形固定資産	10,633	6,233	未払法人税等	1,410	95
ソフトウェア	10,633	6,233	未払金	3,970	3,673
のれん	—	—	未払費用	1,416	1,778
その他の無形固定資産	—	—	前受収益	—	—
代理店貸	—	—	預り金	132	419
再保険貸	—	—	仮受金	—	—
その他の資産	15,446	17,946	その他の負債	875	—
未収金	12,764	14,047	退職給付引当金	—	—
未収保険料	—	—	価格変動準備金	—	—
前払費用	180	180	繰延税金負債	—	—
未収収益	—	—	負ののれん	—	—
仮払金	46	250	負債の部 合計	26,468	33,267
その他の資産	2,456	3,468	(純資産の部)		
繰延税金資産	—	—	資本金	100,000	100,000
供託金	12,000	16,000	新株式申込証拠金	—	—
			資本剰余金	—	—
			資本準備金	—	—
			その他資本剰余金	—	—
			利益剰余金	2,659	2,980
			利益準備金	—	—
			その他利益剰余金	2,659	2,980
			繰越利益剰余金	2,659	2,980
			自己株式	—	—
			自己株式申込証拠金	—	—
			株主資本合計	102,659	102,980
			其他有価証券評価差額金	—	—
			繰越ヘッジ損益	—	—
			土地再評価差額金	—	—
			評価・換算差額等合計	—	—
			新株予約権	—	—
			純資産の部 合計	102,659	102,980
資産の部合計	129,127	136,248	負債及び純資産の部 合計	129,127	136,248

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	平成 23 年度	平成 24 年度
経常収益	150,622	162,877
保険料等収入	126,328	159,142
保険料	126,328	159,142
再保険収入	—	—
回収再保険金	—	—
再保険手数料	—	—
再保険返戻金	—	—
資産運用収益	15	18
利息及び配当金等収入	15	18
その他運用収益	—	—
その他経常収益	24,277	3,715
経常費用	134,039	161,902
保険金等支払金	51,500	93,018
保険金等	51,500	93,018
解約返戻金等	—	—
契約者配当金	—	—
再保険料	—	—
責任準備金等繰入額	6,459	8,637
支払備金繰入額	1,882	2,056
責任準備金繰入額	4,576	6,581
資産運用費用	—	—
事業費	76,079	60,246
営業費及び一般管理費	68,102	52,802
税金	2,969	2,722
減価償却費	5,008	4,720
退職給付引当金繰入額	—	—
その他の経常費用	—	—
経常利益（又は経常損失）	16,583	974
特別利益	—	—
特別損失	—	—
価格変動準備金繰入額	—	—
その他特別損失	—	—
契約者配当準備金繰入額	—	—
税引前当期純利益（又は税引き前 当期純損失）	16,583	974
法人税及び住民税	1,679	653
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	1,679	653
当期純利益（又は当期純損失）	14,903	321

## (3) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	平成 23 年度	平成 24 年度
営業活動によるキャッシュ・フロー		
保険料の収入	122,034	157,416
再保険収入	—	—
保険金等支払による支出	△51,500	△93,018
解約返戻金等支払による支出	—	—
再保険料支払による支出	—	—
事業費の支出	△72,692	△55,862
その他	27,364	3,038
小 計	25,205	11,574
利息及び配当金等の受領額	15	18
利息の支払額	—	—
契約者配当金の支払	—	—
その他	△2,000	△4,000
法人税等の支払額	△683	△2,252
法人税等の還付額	778	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,316	5,341
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預貯金の純増減額 (△は増加)	—	—
有価証券の取得による支出	—	—
有価証券の売却・償還による収入	—	—
有形・固定資産の取得による支出	—	—
その他	—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	—	—
借入金の返済による支出	—	—
社債の発行による収入	—	—
社債の償還による支出	—	—
株式の発行による収入	—	—
自己株式の取得による支出	—	—
配当金の支払額	—	—
その他	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	23,316	5,341
現金及び現金同等物期首残高	67,043	90,359
現金及び現金同等物期末残高	90,359	95,700



## (4) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

科目	平成 23 年度	平成 24 年度
株主資本		
資本金		
前期末残高	100,000	100,000
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	100,000	100,000
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	—	—
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	—	—
利益剰余金		
その他剰余金		
繰越利益剰余金		
前期末残高	△12,244	2,659
当期変動額		
当期純利益	14,903	321
当期変動額合計	14,903	321
当期末残高	2,659	2,980
株主資本合計		
前期末残高	87,756	102,659
当期変動額		
新株の発行	—	—
当期純利益	14,903	321
当期変動額合計	14,903	321
当期末残高	102,659	102,980
純資産合計		
前期末残高	87,756	102,659
当期変動額		
新株の発行	—	—
当期純利益	14,903	321
当期変動額合計	14,903	321
当期末残高	102,659	102,980

注記事項

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準および評価方法

最終仕入原価方法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：法人税法の規定による定率法

無形固定資産：法人税法の規定による定額法

3. 退職給付引当金の計上方法

該当事項はありません。

4. 価格変動準備金

該当事項はありません。

5. 消費税等の処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

6. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

II. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 3,330 千円

2. 保険業法第 113 条に規定する繰延資産

該当事項はありません。

III. 損益計算書に関する注記

1. 利息および配当金収入の内訳

普通預金利息・・・・・・・・・18 千円

2. 正味収入保険料・・・・・・・・・159,142 千円

3. 正味支払保険金・・・・・・・・・93,018 千円

IV. キャッシュ・フロー計算書に関する注記

1. キャッシュ・フロー計算書は、直接法により作成しています。

2. 現金および現金同等物の範囲は、預貯金です。

V. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の数は、2,000 株です。

VI. 関連当事者との取引に関する注記

注記の対象となる関連当事者との取引はありません。

VII. 一株当たり情報に関する注記

1. 1株当たりの純資産額は、51,490 円 40 銭です。

2. 1株当たりの当期純利益の額は、160 円 85 銭です。

2. 保険金の支払い能力の充実の状況（ソルベンシー・マージン比率）

（単位：千円）

	平成 23 年度	平成 24 年度
(1) ソルベンシー・マージン総額	106,513	107,130
① 純資産の部合計（社外流出予定額、評価・換算差額等及び繰延資産を除く。）	102,659	102,980
② 価格変動準備金	—	—
③ 異常危険準備金	3,854	4,149
④ 一般貸倒引当金	—	—
⑤ その他有価証券の評価差額（税効果控除前）（99%又は100%）	—	—
⑥ 土地含み損益（85%又は100%）	—	—
⑦ 契約者配当準備金の一部（除、翌期配当所要額）	—	—
⑧ 将来利益	—	—
⑨ 税効果相当額	—	—
⑩ 負債性資本調達手段等	—	—
	—	—
	—	—
⑪ 控除項目（－）	—	—
(2) リスクの合計額 $\sqrt{[R_1^2+R_2^2]+R_3+R_4}$	4,053	4,360
保険リスク相当額	3,854	4,149
R1 一般保険リスク相当額	3,854	4,149
R4 巨大災害リスク相当額	—	—
R2 資産運用リスク相当額	903	956
価格変動等リスク相当額	—	—
信用リスク相当額	903	956
子会社等リスク相当額	—	—
再保険リスク相当額	—	—
再保険回収リスク相当額	—	—
R3 経営管理リスク相当額	95	102
ソルベンシー・マージン比率 (1)/ {(1/2)×(2)}	5,255.1%	4,913.9%

3. 有価証券または金銭信託の取得価額または契約価額、時価および評価損益

(1) 国債

該当事項はありません。

(2) 金銭信託

該当事項はありません。

4. 公衆の縦覧に供する書類に関する会計監査人の監査の有無  
当社は会計監査人の監査は受けておりません。
  
5. 計算書類に関する会計監査人の監査証明の有無  
金融商品取引法第 193 条の 2 の規定に基づく公認会計士または監査法人の  
監査は受けておりません。